



## 【2/5(木) プレスセミナー開催】 境界の曖昧な建築に凝縮された、 「おうちにかえろう。病院」のレジリエンス経営

人づくりにこだわる覚悟と、新しい常識づくりへの挑戦

日時：2026年2月5日(木) 18:30-(受付/18:00-)

場所：「おうちにかえろう。病院」(東京都板橋区大原町 44-3)

医療法人社団 焰が運営する「おうちにかえろう。病院」(所在地：東京都板橋区 病院長：水野慎大)は、2026年2月5日(木)に『境界の曖昧な建築に凝縮された、「おうちにかえろう。病院」のレジリエンス経営』を主題とするプレスセミナーを開催することをお知らせします。

本セミナーでは、「人づくり」を起点とした病院経営を牽引した結果、持続可能な病院経営体制を確立し、安定した医療専門職の人材確保を実現した「おうちにかえろう。病院」のレジリエントな経営戦略に加え、経営思想を象徴する特徴的な病院設計についてご紹介いたします。

人づくりにこだわる覚悟と、新しい常識づくりへの挑戦

「おうちにかえろう。病院」プレスセミナー

境界の曖昧な建築に凝縮された  
「おうちにかえろう。病院」の  
レジリエンス  
経営

医療法人社団 焰  
おうちにかえろう病院  
事務長 横井 大介

医療法人社団 焰  
おうちにかえろう病院  
病院長 水野 慎大

「おうちにかえろう。病院」にて開催

2026年2月5日(木) 18:30-START

おうちにかえろう。病院

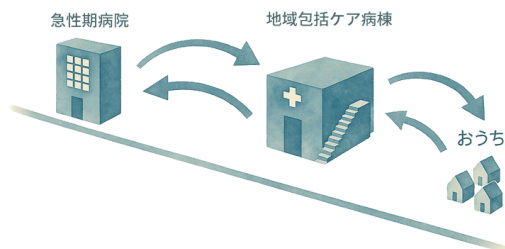
### ■意思決定支援にこだわる「おうちにかえろう。病院」

「おうちにかえろう。病院」は、2021年に在宅医療専門の診療所が設立した、地域包括ケア病棟（全120床）を備える中規模病院です。

当院は、患者さんとそのご家族の「意思決定を支える場」であることを目指し「対話」の文化を大切にしています。疾患や身体状況だけでなく、患者さんがどのような人生を歩み、どのような価値観で、どのような未来を望んでいるのか。多様な医療専門職が患者さんを主語にしたコミュニケーションをとりながら意思決定を支えています。



(病院外観)



#### <当院の役割>

当院は「地域包括ケア病棟」として、患者さんの在宅復帰を支援する役割を担っています。

\*地域包括ケア病棟とは、急性期治療を終え、病状が安定した方や、在宅療養中に一時的に入院が必要になった方を対象に、在宅復帰を支援するための病棟です。

#### 本件に関するお問い合わせ

医療法人社団 焰 広報部 島田・峯村  
電話番号：050-5497-1461 (広報直通)  
メールアドレス：pr@teambblue.jp

## ■新しい常識づくりに挑み続けた経営戦略

当院は、医局やナースステーションをあえて設けない建築設計に加え、様々な専門職種で構成する職種横断型の組織デザインを導入し、多職種が自然に交わる環境を実現。職種間の壁を取り払う組織文化を育むことで、院内コミュニケーションが活性化しました。

多様な医療専門職が、患者さんを主語にしたコミュニケーションを交わしながら退院支援をサポートする体制で、2025年の当院の在宅復帰率は、最高で93.3%に達し、国の基準である72.5%を大きく上回る水準を実現しています。

(取り組みの一部)



患者さんが食事をしたり会話をを楽しむ場所で、毎日多職種カンファレンスを実施しています。



医療専門職種は、白衣やスクラブではなくみんなシャツを着用しています。



オフィスはフリーアドレス制を導入。多様な職種が入り混じり、コミュニケーションをとっています。

## ■「人づくり」をやりきる覚悟が、揺るぎないチーム力を築いた

当院の経営は、事務長の横井 大介(以下、横井)と、病院長の水野 慎大(以下、水野)によるWヘッド体制のもとで運営しています。横井は、自身を“店長”、水野を“料理長”と位置付けるマネジメントスタイルを取り入れながら、「人づくり」を基盤とした病院経営を牽引しました。

開院当初は、相次ぐ退職や医療専門職間のヒエラルキーによる軋轢、スタッフ間の関係悪化といった多くの課題に直面。横井と水野は、それぞれの立場から全スタッフが「当事者であろう」という姿勢と「チームの皆を大切にしよう」という価値観を育む仕組みづくりに注力し、すべての職種がフラットな関係性を築く体制を確立させました。

本プレスセミナーでは、「人づくり」を経営の基盤に置いた取り組みについてお話しします。その結果として確立した持続可能な病院経営体制、安定した医療専門職の人材確保に至るまでの道のり、そして具体的な成果をご紹介します。



### 横井大介／おうちにかえろう病院 事務長

大手民間企業で19年間、本社医療関連部門での業務に従事。  
2013年から2017年まで中国・上海にて現地法人を立ち上げ、現地責任者としてM&Aを推進。

その後、日本の介護事業および技術の海外輸出を主導。  
帰任後は、同社の医療関連部門の執行役員を務めた。

2019年より当法人に参画。病院の立ち上げと事業統括責任者を務めている



### 水野慎大／おうちにかえろう病院 病院長

現役大学生。最近では、院内スタッフに向けた、意思決定支援を論理的に学ぶ「ACPマイスター養成講座」を主宰するほか、意思決定支援に特化した「これからどうする」外来を開設。

2006年慶應義塾大学医学部卒業。総合病院国保旭中央病院初期臨床研修医  
2008年慶應義塾大学医学部内科専修医  
2010年慶應義塾大学医学部内科学（消化器）助教  
2018年慶應義塾大学医学部内科学（消化器）専任講師  
2019年医療法人社団焔やまと診療所  
2021年同法人「おうちにかえろう。病院」開院に伴って現職  
博士（医学）、総合内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医

### 本件に関するお問い合わせ

医療法人社団 焔 広報部 島田・峯村  
電話番号：050-5497-1461（広報直通）  
メールアドレス：pr@teambblue.jp

## <返信用紙>

お忙しいところ、恐れ入りますが、**1月30日(金) 18:00** までに  
本フォーマットまたは個別メール・電話にて、ご出欠をお知らせください。

医療法人社団 焰 広報部 島田・峯村

TEL：050-5497-1461（広報直通）FAX：03-5917-8062 Mail：pr@teambblue.jp

# 【2/5(木) プレスセミナー開催】 境界の曖昧な建築に凝縮された、 「おうちにかえろう。病院」のレジリエンス経営

人づくりにこだわる覚悟と、新しい常識づくりへの挑戦

日時：2026年2月5日(木) 18:30-(受付/18:00-)

場所：「おうちにかえろう。病院」(東京都板橋区大原町 44-3)

## ■スケジュール

18:00 受付開始「おうちにかえろう。病院」1階ロビーにて

18:30 <院内見学ツアー> \*病棟階ではマスクを着用いただきます。  
(当院でご用意いたします)

19:00 <講演1>  
(仮題)「病院経営の常識」よりも「チームの可能性」  
ー変革期を乗り越える、チーム進化の組織論ー  
登壇者:おうちにかえろう病院 事務長 横井大介

19:30<講演2>  
(仮題)人づくりの手段として行う病院経営  
登壇者:おうちにかえろう病院 病院長 水野慎大

20:00 <トークセッション>  
横井と水野が対談形式で病院経営を語ります。

20:30 <閉会>



プレスセミナー会場

☐ ご出席

☐ ご欠席

|      |   |      |       |
|------|---|------|-------|
| 貴社名  |   |      |       |
| 媒体名  |   |      |       |
| ご芳名  |   | 参加人数 |       |
| 電話番号 | - | 携帯番号 |       |
| MAIL | @ | 撮影   | 有 / 無 |